

## 1. 概要

これまで、国内各地でITを用いた地域医療連携システムの構築が行われている。昨今の在宅や介護連携に向けた流れの中で、従来以上に地域医療連携システムやサービスの拡大、またそこに介護への連携も含めた形での普及と拡大が見込まれる。

このような状況においては、情報連携サービスを提供する運営組織において、従来の医療関係以外の組織・従事者の参加も見込まれる。それは、既存の医療分野等における情報システムのガイドラインの順守に不慣れな状態でのサービス提供が行われる事が危惧される。

したがって、運営組織における医療介護情報システムや運営が適切な管理の元で行われていることを他者が評価し公表することが、そのサービスに参加希望する人々や機関に対して安心して参加できる一定程度の基準を提供できると考える。

これは、HISPROの設立趣旨に合致し、評価事業目的に適合しているため、「地域医療介護情報連携サービスの安全管理評価」を行う。

## 2. 詳細対象

地域医療介護情報連携サービスを提供している運営団体のシステムと情報管理体制

## 3. 評価の視点

チェックシートに記載した評価項目と評価内容に記されている。

当初の評価業務においては、評価項目を示す書類の存在であり、その内容の妥当性評価は本評価事業の将来的課題の中で検討をする。

したがって、評価は、情報管理の運用規則の有無など、原則として書類の存在審査である。

運用規則等の実運用性が疑われる場合、あるいは現地における審査が必要な場合は実地調査もありえる。また、2年後の更新審査でサービス利用者としての医療機関等の運用環境等への立ち入り、その実効性を評価する場合がある。

## 4. 評価手順

- 1) 評価申請書提出
- 2) チェックリストの申請者へ提示
- 3) 評価費用見積もり
- 4) 契約、手付金支払い(試行期間中は後払い可)
- 5) 評価者のアサイン
- 6) 申請者によるチェックリスト記入・提出
- 7) 評価業務：書類の存在確認が主なので、質問・再提出等の手順は踏まず一度の評価で終了。
- 8) 評価判定会議
- 9) 結果の通知
- 10) 残金(有れば)支払い
- 11) 評価結果の公表

## 5. 提出書類

- 1) 評価申請書
- 2) チェックリストで示した内容を記載した書類

以 上